

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会
2018年度第1回(通算第49回)理事会 議事録(案)

1. 開催日時：2018(平成30)年7月22日(日) 11:00～13:19(昼休憩 12:00～13:00)
2. 場 所：「加瀬の貸会議室」 2階 第3会議室(横浜市港北区新横浜3-19-11 加瀬ビル88)
3. 審議事項および資料
第1号議案(専権等の報告) 新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について
第2号議案(専権等の報告) 事業の後援および協賛に関する承認について(報告)
第3号議案(専権等の報告) 2017年度第6回業務執行報告(総務系)
第4号議案(専権等の報告) 2017年度第6回業務執行報告(事業系)
第5号議案(専権等の報告) 2018年度第1回業務執行報告(総務系)
第6号議案(専権等の報告) 2018年度第1回業務執行報告(事業系)
第7号議案(専権等の報告) 第8回全国頸髄損傷者連絡会・一般社団法人日本リハビリテーション工学協会合同シンポジウム開催について
第8号議案(決議) 専門委員会「研修企画委員会」の立ち上げについて
第9号議案(決議) 協会誌投稿規定検討にかかる専門委員会の設置
第10号議案(決議) 2017年度事業報告(案)について
第11号議案(決議) 2017年度決算案について

4. 理事総数 13名
出席理事数 12名
会長(代表理事) 沖川悦三
理事 石濱裕規、江原喜人、岡野善記、桂律也、金井謙介、杉本昌子、鈴木太、中村俊哉、麩澤孝、水澤二郎、山形茂生
監事 相川孝訓、赤澤康史
事務局 深野栄子
欠席理事 剣持 悟
※ 途中出席：麩澤理事(第5号議案以降)

5. 議事の経過の概要及び議決の結果
(1) 定款第49条に基づき、議長となる会長の沖川悦三が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。
(2) 議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の山形茂生と金井謙介の2名を選出した。

第1号議案(専権等の報告) 新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について
沖川会長より、2017年度第6回(通算第48回)理事会以降に専権事項とした2018年06月13日～2018年06月30日、2018年07月01日～2018年07月20日の計15名(2017年度下半期正会員1名、2018年度正会員4名、学生会員10名)の入会が報告され、追認で承認された。
承認10、非承認0(会長、麩澤理事除く)

第2号議案(専権等の報告) 事業の後援および協賛に関する承認について(報告)
沖川会長より、前回の理事会以降で、継続依頼のため専権事項として承認回答した後援・協賛依頼について報告され、追認で承認された。
承認10、非承認0(会長、麩澤理事除く)

- ・ 2018/06/26 後援 日本身体障害者補助犬学会さまより「日本身体障害者補助犬学会第11回学術大会」(2018/10/6～7)
- ・ 2018/06/26 後援 バイオフィリアリハビリテーション学会さまより「第22回バイオフィリアリハビリテーション学会大会」(2018/11/10～11)
- ・ 2018/07/13 後援 特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センターさまより「第6回ウェルフェアデザインコンテ

スト会」(2018/9~2019/3)

- ・ 2018/07/21 後援 一般社団法人ナンフェスさまより「ウォーク&ランフェスタ 2018」(2018/9/17)

第3号議案(専権等の報告) 2017年度第6回業務執行報告(総務系)

水澤副会長(総務)より、各業務執行理事の業務執行状況(2018年6月17日~2018年6月30日)が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

■ 会長/事務局担当: 沖川

- ・ 会計データ書式の問題点等について改善方法を検討しながら、決算処理に向け毎月の会計処理を行った。
- ・ 後援・協賛依頼への承認回答を行った。※後援2件(継続)への回答送付
- ・ 展示会出展における広報活動: 第17回高知ふくし機器展バリアフリーフェスティバル2018への広報物送付。
- ・ 入会申込者の承認を理事会に諮り専権として承認回答
- ・ ホームページの運営・管理

■ 総務統括/規則選挙担当: 水澤

- ・ 総務系理事に対して、理事会・総会担当理事からの指示の元、7/13〆切として業務執行報告書の提出を求めた(2018年6月17日~2018年6月30日分)。

■ 理事会・総会担当: 江原

- ・ 理事会開催
 - ・ 2017年度第6回(通算第48回)理事会議事録の取りまとめを行った。
 - ・ 2018年度理事会開催のための日程調整を行った。
 - ・ 2017年度事業報告(案)および2018年度事業計画(案)の取りまとめを行った。

■ 財務担当: 岡野

- ・ 月次財務・経理の管理業務を行った
- ・ 2017年度決算案準備
- ・ 財務会計システム改善準備
- ・ 財務経理データ確認作業

■ 広報・渉外担当: 杉本

- ・ ホームページ専門委員会
 - ・ 最終ホームページリニューアルの打合せを行った。
 - ・ 支部・SIGからのイベントセミナー掲載依頼書を作成した。
- ・ 会員MLサービス: 会員ML配信(0件)・新規会員ML登録数(2件)・フリーML運用開始(2件)
- ・ 協会Facebook投稿(0件)

第4号議案(専権等の報告) 2017年度第6回業務執行報告(事業系)

金井副会長(事業)より、各業務執行理事の業務執行状況(前回理事会(2018年6月17日)から本理事会前日(2018年6月30日)まで)が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

■ カンファレンス担当: 剣持・鈴木

- ・ 第33回リハ工学カンファレンス in あつぎの開催準備
 - ・ リハ工学協会企画として交流会時に「大会長企画 神奈川リハ病院とリハ工学の歴史」を行うことを決定した。

■ コンテスト担当: 山形

- ・ 福祉機器コンテスト30周年記念シンポジウムの企画・調整を実施。

■ 協会誌担当: 石濱・桂

- ・ 協会誌発行/予定: 「(仮)遊び 最近の動向」(vol. 33 No. 3)、「(仮)人工内耳」(vol. 33 No. 4)、「(仮)リハビリテーション工学の卒前教育の現状と課題」(vol. 34 No. 1)
- ・ 6月30日に第2回編集委員会が開催された。
- ・ J-STAGE 掲載作業の編集委員委託のための資料作成と試験掲載実施
- ・ 現投稿規定の見直しの検討
- ・ 協会HP「バックナンバー注文フォーム」を新規作成、運用開始

■ 分科会・委員会担当: 金井・中村

- ・ 高知福祉機器展に向けた各種調整
- ・ 2017年度事業報告、2018年度事業計画に関する調整(SIG、支部)

- ・ 協会誌Vol133No3に掲載する支部お知らせページ、SIG広報に関する調整
- 企画担当：中村・麴澤・金井
 - ・ 第1回災害対策リハ工学セミナーの開催報告(WEB用)を作成した。
 - ・ 第2回災害対策リハ工学セミナーの開催に向け九州・沖縄支部及び災害対策委員会との調整を行った。
 - ・ 第7回合同シンポジウムの開催報告(WEB用)を作成した。
 - ・ 第8回合同シンポジウムに向け中四国支部と調整を行った。
 - ・ バリアフリー2018のブース出展・セミナー開催報告(WEB用)を作成した。
 - ・ HCR2018出展社セミナー開催に向けた調整
- 国際担当：桂・石濱
 - ・ 3月にAATPOの負担金拠出の依頼が繁成前会長あてにあったが、状況確認に至らず、年度内の負担金支払いを見送った。

第5号議案（専権等の報告）2018年度第1回業務執行報告（総務系）

水澤副会長（総務）より、各業務執行理事の業務執行状況（2018年7月1日～2018年7月21日）が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

- 会長／事務局担当：沖川
 - ・ 決算処理を行った。また会計処理の見直しに伴い、今年度より部門別・科目別の新コードでの会計処理を進めた。
 - ・ 入会申込者の承認を理事会に諮り専権として承認回答
 - ・ 後援・協賛依頼への承認回答を行った。※後援1件（継続）への回答送付
 - ・ 展示会出展における広報活動：H.C.R.2018の出展準備（出展社プレゼンテーション申込）
- 総務統括／規則選挙担当：水澤
 - ・ 補欠役員候補者の立候補の締切日（6月29日）をもって、理事立候補者として1名の候補者を確定し、定時社員総会に諮る準備を進めた。
 - ・ 総務系理事に対して、理事会・総会担当理事からの指示の元、7/13〆切として業務執行報告書の提出を求めた（2018年7月1日～2018年7月21日分）。
- 理事会・総会担当：江原
 - ・ 2017年度第6回（通算第48回）理事会議事録の取りまとめを行った。
 - ・ 2018年度理事会開催のための日程調整を行った。
 - ・ 2018年度社員総会資料（案）の作成および開催準備を行った。
- 財務担当：岡野
 - ・ 5月、6月経理データ処理
 - ・ 2017年度決算案作成
 - ・ 2017年度財務・会計とりまとめ及び業務フローの確認
 - ・ 財務会計のシステム改善
- 広報・渉外担当：杉本
 - ・ 新協会ホームページ運用開始
 - ・ リニューアルに伴い、協会内外に対し新HPの案内を行った。
 - ・ 関西支部セミナー実施報告書、バリアフリー2018出展報告書を校正し、掲載準備を行った。
 - ・ 支部、SIGからのイベント、セミナー情報を協会HPに掲載するべく、HP掲載依頼書を作成し、運用を開始した。
 - ・ 義肢装具SIGからの掲載依頼に対応し、セミナー情報を掲載する準備を行った。
 - ・ Web管理委員会：新会員ML登録3件、会員ML配信2件、Free ML配信4件、Facebook投稿1件

第6号議案（専権等の報告）2018年度第1回業務執行報告（事業系）

金井副会長（事業）より、各業務執行理事の業務執行状況（前回理事会（2018年7月1日）から本理事会前日（2018年7月21日）まで）が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

- カンファレンス担当：剣持・鈴木
 - ・ 第33回リハ工学カンファレンス in あつぎの開催準備
 - ・ カンファレンス事前参加申し込み締め切りを7月23日まで延長
 - ・ 後援・協賛依頼についての再確認
- コンテスト担当：山形
 - ・ 福祉機器コンテスト2018第一次選考会実施（7/7）

- ・福祉機器コンテスト 30 周年記念シンポジウムの企画・調整を実施。
- 協会誌担当：石濱・桂
- ・第3回編集委員会はWeb編集委員会として開催予定
- ・協会誌お知らせ原稿掲載内容と協会HP掲載内容の整合性確認を進めた
- ・投稿規定見直しに向けた専門委員会設置準備
- 分科会・委員会担当：金井・中村
- ・分科会：SIG・支部
 - ・協会HPへのSIGイベント情報掲載に関する通知と依頼
 - ・協会誌Vo133No3に掲載するSIG・支部からのお知らせに関する調整
 - ・支部活性化に関する検討
- ・専門委員会：災害対策委員会
 - ・JRAT会議への出席（7/9研修企画委員会）
 - ・JRAT研修企画委員会・緊急情報伝達トレーニング結果に関する検討
- 企画担当：中村・麯澤・金井
- ・第8回合同シンポジウムに向け中四国支部と調整を行った。
- ・HCR2018出展社セミナー企画の決定と申し込み「強化段ボールを使った福祉用具のデザインと被災者支援」（繁成剛）
- ・Webでの企画事業の情報発信にかかる開催報告書の書式の改訂作業
- 国際担当：桂・石濱
- ・当該期間の業務執行なし

第7号議案（決議）第8回全国頸髄損傷者連絡会・一般社団法人日本リハビリテーション工学協会合同シンポジウム開催について

企画担当の麯澤理事、中村理事より、全国頸髄損傷者連絡会と共同で開催していた合同シンポジウムの第8回目を四国エリアで開催したいと報告され、附帯事項に記載の実行委員会体制について、審議の結果、満場一致で承認された。
承認 11、非承認 0（会長除く）

2017年度は、リハ工学カンファレンス開催予定の神奈川県厚木市にて開催。本年度は、これまで開催実績のない四国地域で開催したい。開催運営は、日本リハビリテーション工学協会中四国支部（支部長下元佳子）と四国エリアの各全国頸髄損傷者連絡会（鈴木理事）により組織し実施したい。また、開催場所は、四国エリアの中で比較的の中四国エリアや関西エリアからのアクセスの良い香川県高松市を中心に電動車椅子使用者であっても参加が容易な会場を、開催時期は、比較的他の研修が少なく、会場の確保が容易な3月～4月の間で検討している。取り急ぎ、開催の概要について承認いただき、具体的に運営の準備や広報を開始したい。

【事業名】第8回 合同シンポジウム

開催テーマ：（現在調整中）

開催内容：福祉用具を使って人生を楽しむこと中心に、有識者によるシンポジウムや機器展示を行う

開催日時：2019年3月上旬～4月上旬のいずれかの土曜日（半日）

開催場所：香川県高松市を中心に検討中

主催：日本リハビリテーション工学協会 全国頸髄損傷者連絡会

実行委員会：日本リハビリテーション工学協会中四国支部（支部長下元佳子）

及び四国エリアの各全国頸髄損傷者連絡会により組織

参加者数（見込）：約150人

第8号議案（決議）専門委員会「研修企画委員会」の立ち上げについて

分科会・委員会担当の金井理事より、協会で開催しているセミナーの継続的な企画運営や企画セミナー等の収益事業となるセミナー等の効果的かつ、集客可能な企画運営を実施するために、研修企画委員会を立ち上げたいと提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

なお、将来的には常設化を目指し課題の整理を行いたい。また、その準備委員会的な位置づけとして設置したい。

<活動内容>

- ・セミナー並びに研修の企画

・セミナー及び研修の企画運営にかかる課題の整理

<活動期間>

2018年8月～2020年6月

<委員会メンバー候補者>

金井理事・岡野理事・石濱理事・杉本理事・鈴木理事・中村

1. 名称：研修専門委員会 と称す
2. 設立目的：既存の研修やセミナー及び収益確保に向けた研修・セミナーについての企画の検討
各事業でのアイデアの共有化や事業と連動した企画の検討
及び、研修やセミナー等の企画運営にかかる課題抽出
3. 対象分野：協会主催 研修・セミナー・展示会出展の企画運営
4. 委員長候補者：中村俊哉
5. 設立時委員候補者：金井理事・岡野理事・石濱理事・杉本理事・鈴木理事
6. 設置希望期間：2018年8月～2020年6月

承認 11、非承認 0 （会長除く）

第 10 号議案（決議）協会誌投稿規定検討にかかる専門委員会の設置

協会誌担当の石濱理事より、前回理事会からの継続審議であるが、投稿規定・関連書式について、著作権・電子送信権保障、JST 搭載対応、英文タイトル表記等も含め、協会誌投稿規定改定につき、担当理事・協会誌編集委員会委員を中心とし、カンファレンス論文集の執筆・登録要綱にかかる方針も考慮し、検討を進めるために、協会誌投稿規定検討委員会を立ち上げたいと提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

協会誌投稿規定は、投稿／依頼原稿の区別が十分になされていない。具体的には、投稿者、投稿原稿の採否、掲載料につき、原稿種別による適応／除外の明記がない。そして、著作権帰属に関連する（誓約）書式が十分とは言い難い。また、カンファレンス講演論文集では、現投稿規定に準じた体裁での論文登録が推奨されているが、オリジナリティーにかかる投稿基準には協会誌投稿原稿／カンファ論文集間で差異がある。

さらに、協会誌原稿依頼・査読の効率化についても協議したく、有識者からなる専門委員会の設置につき、1 年を当面の設置期間として要請し、投稿規定改正案の承認を目標として活動したい。

なお、協会誌編集委員会併設会議／Web 会議を想定しており、別箇予算請求は、通信費以上には生じない見込みである。

1. 名称：協会誌投稿規定検討委員会
2. 設立目的：原稿種別に対応した投稿規定の検討、ならびに著作権帰属にかかる関連書式の整備必要性の検討を進め、必要性に応じ、投稿規定改正案を作成する。
3. 対象分野：協会誌投稿規定・関連書式、ならびに同規定参照範囲におけるリハ工学カンファレンス講演論文集の執筆・登録要綱
4. 委員長候補および設立時委員名簿（敬称略）
石濱 裕規 （協会誌／国際 担当理事） （委員長候補）
桂 律也 （国際／協会誌 担当理事）
西村 顕 （協会誌編集委員会副委員長）
徳田 良英 （協会誌編集委員）
深野 栄子 （協会誌編集委員会幹事）
剣持 悟 （カンファレンス 担当理事）
5. 設置希望期間：2018年7月22日～2019年8月22日

承認 11、非承認 0 （会長除く）

第 11 号議案（決議）2017 年度事業報告（案）について

沖川会長より、2017 年度事業報告（案）が提示され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認 11、非承認 0 （会長除く）

第12号議案（決議）2017年度決算案について

沖川会長より、2017年度決算案（貸借対照表、損益計算書、事業費・管理費）、総勘定元帳が提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認11、非承認0（会長除く）

- ・ 理事会前日（2018年7月21日）監査を実施した。業務執行状況については、総会の決議した年間事業は概ね順調に実施されており、本務のある中、各理事が取り組まれ各事業が執行されたことは評価に値する。決算報告書、証拠書類等について監査した結果、本会の財産は適正に管理されている。予算執行は順調であった。正式な監査報告書はこの後、理事会MLに報告する。

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2018（平成30）年度第1回（通算第49回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（13時19分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2018年7月22日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会平成30年度第1回理事会

議 長	沖川悦三
議事録署名人	山形茂生
議事録署名人	金井謙介